

- 令和5年12月13日(水)15:30～17:00 川場村役場 交流ホールで開催
- 参加者 沼田市長、長野原町長、嬬恋村長、片品村長、川場村長、みなかみ町長、世田谷区、吾妻郡・利根郡自治体関係者、関東地方整備局(全35名)
- 挨拶 国土交通省 関東地方整備局長
- 背景説明 国土交通省 関東地方整備局河川部長
- 講演 川場村役場 外山村長「川場村のむらづくり」
- 全体ミーティング 事例紹介(東吾妻町及び草津町の自治体連携事例)、意見交換

主催：国土交通省関東地方整備局 河川部

- ◇ 大規模災害に備え、平時から都市と地方の連携を深めていくことを目的として、川場村と世田谷区の縁組協定の事例を参考に群馬県北部地域の自治体と意見交換。
- ◇ 気候変動の影響で多発する水害や首都直下地震、火山噴火等の大規模災害が発生した際、多くの避難者受入など相互支援が円滑にできるよう平時からの体制づくりの必要性を確認。

■開催状況



■挨拶 関東地方整備局 藤巻局長



「大規模災害に備え事前防災対策をより一層加速化させていくことが重要」

「地方と都市部のお互いの良いところを生かしながら、平時から連携関係を築けていけるよう皆さんと考えていきたい。」

■講演 川場村役場 外山村長



『川場村のむらづくり』

- ・ 農業プラス観光(政策)
 - ・ 都市交流事業
 - ・ 田園プラザ事業
 - ・ 木材コンビナート事業
 - ・ 新庁舎の紹介
- 〔災害時の活用
バイオマス自家発電設備など〕

■意見交換の様子



沼田市長



嬬恋村長



長野原町長



世田谷区交流推進課長



片品村長



みなかみ町長

■主な意見

- 都市部にはない豊かな自然や人の温かさやを求めて村と縁組協定を結び、小学生の移動教室による農作業体験や区イベントでの物産販売など多くの交流を行っている。(世田谷区)
- 大災害時は1自治体だけで避難者を受け入れられない。緑豊かで心温かい利根沼田、吾妻がスクラムを組んでいくことが大切。(長野原町長)
- 北毛地域には宿泊施設も多い。各自治体の都市部との交流をより広域化し、一步一步前に進めていきたい。(嬬恋村長)